

第4回 高校改革フォローアップ委員会関係校協議会（要旨）

期 日 平成27年1月6日（火） 16:15～:17:15

参加校 農業系学科設置校等 10校 三重総合、三重総合久住校、宇佐産業科学、国東、
日出陽谷・日出総合、大分東、佐伯鶴岡・佐伯豊南、
玖珠農業、日田林工、玖珠美山

① 県立学校と振興局等との連携方法について

【連携マニュアルの作成】

- ・学校訪問の中で教員から、振興局がどのような組織かわからないといった指摘があり、連携を円滑に進めるため、マニュアルを作成することとした。

【取組事例・意見】

- ・課題研究発表会に振興局職員を招き、アドバイスや次年度の課題研究への提案を頂いている。
- ・今回の企画は、農場主任が振興局担当者と十分な相談をしながら準備を進めた。生徒には農業の大変さではなく、楽しさをもっと伝えたいといった学校の意見をもとに振興局と協議を重ね、バスツアーを企画し充実したものにできた。
- ・農業法人や農業関係企業を訪問している中で、本校に農業科ができたことが意外と知られていないことがわかった。
- ・振興局職員を特別講師として招聘し、生徒に対する特別授業を行ってもらうことを計画してみたい。
- ・学校と振興局の管理職を含めた組織的な連携を目指している。1回目は学校主体で連携内容の協議を、2回目は振興局主体で技術連携や農業法人等の視察を行う内容で計画している。
- ・森林組合や県庁への就職など、いろいろな進路先があることを生徒に教えたい。
- ・高校教育課の支援を得ながら、振興局とインターンシップ開始に向けた打合せを行った。来年度は、インターンシップ先確保に向け、更に連携を深めたい。
- ・平成26年6月に立ち上げたビジネス人材育成協議会には、振興局のほかJA、市役所、商工会議所も参加し、連携の輪が広がっている。

② 9月以降の学校PR状況について

【取組事例・意見】

- ・先生方の学校PRに対する意識が高まっている。
- ・教員が指導力や技術力など、さらに上を目指そうという気持ちを持つことが大事である。
- ・PRは、生徒および教員に、もうワンランク上を目指そうというプラスの効果をもたらす。
- ・生徒の能力は素晴らしく、生徒が頑張っていることを、地域に積極的にPRしたい。

【まとめ】

- ・取組事例の中に各学校の強みが見て取れる。振興局との組織的な連携を進めている学校の他に、市からの支援や大学との技術連携、小学校への園芸出前授業、農業大学校との高大接続課題研究、県畜産試験場からの牛繁殖技術の支援など、地域の関係機関等の力を強みとしながら、各学校が特色づくりの取組を進めていることがわかった。
- ・農場主任・ミドルリーダーの存在の大きさを感じる一方で、若手の教員の育成が今後の鍵だと考えている。連携マニュアルを十分に活用して頂きたい。
- ・連携マニュアルを上手く活用し、振興局等へも学校の取組をPRしてほしい。
- ・農林水産部や振興局の職員と学校の先生方とが交流を持ち関係を積み重ねる中で、さらなる連携を進め、外部の力を活用した農業教育の推進を図ってほしい。